

2019 年度

ボートレースチャリティ基金協力報告書



インド西ベンガル州：コロニーの村人との一枚

ボートレースチャリティ基金委員会

選手会口

1-1 支援概要

選手会口は選手会所属のボートレーサーの皆さまから頂いたご寄付で、ハンセン病患者・回復者及びその子供たちに対する教育支援に使用させていただいています。

2003年度より15年間で、インド、ネパール、中国、フィリピン、インドネシア、ベトナム7か国において、延べ5,525人が小中学校、高校、大学、専門学校へ通う事が出来ました。

現在は、第5次教育支援として（2019年度から2022年度まで）、WHOハンセン病制圧大使による訪問国等を対象とする支援活動を行っています。

1-2 収入/支出状況

年度	収入	支出	事業期間
2002	¥15,310,000	¥14,952,585	2003-2009
2008	¥12,585,965	¥11,947,129	2009-2013
2010	¥11,908,005	¥10,663,364	2010-2014
2014	¥15,000,000	¥15,613,005	2014-2017
2019	¥15,000,000	¥3,009,559	2019-2022
総計	¥69,803,970	¥56,185,642	

1-3 2019年度支援活動詳細

支援総額 ¥3,009,559

2019年度より第5次教育支援として、インドのハンセン病回復者子女への支援を開始しました。

インド・アンドラプラデッシュ州における回復者家族への教育支援	
支援額	¥3,009,559
支援概要	目的：回復者子女が教育を受け、将来的に親である回復者の社会統合を促進する 支援先団体：GRETNALTES (Greater Tenali Leprosy Treatment and Education Scheme Society) 活動概要：通学が困難な94名の回復者子女に対する寄宿費支援
目標と実施内容	目標：回復者子女への継続的で質の高い無償の教育環境の提供 実施内容： 期間：2019年7月1日～2020年3月31日 インド南東部アンドラプラデッシュ州には57のハンセン病コロニーがあり、ハンセン病回復者やその家族は社会的にも経済的にも恵まれない環境で生活している。GRETNALTESは1981年に、ハンセン病回復者により創設され、当初は患者の発見や治療、リハビリ、形成手術の支援を専門としていたが、回復者子女に平等な教育機会が与えられない状況の改善のため、2003年に学校を設立し、無償で教育の提供を開始した。この学校には、一般の子供たちも多く通っており、現在では幼児から中学生まで1089人が在学しており、そのうち94人がハンセン病回復者子女である。

回復者子女は約 50 キロ離れたアンベドカールコロニーなどに居住しており、学校のある期間は寄宿舎で生活をしている。本プロジェクトではこの寄宿費を支援することで、ハンセン病回復者の子供が十分な教育を受けることができる環境を整備し、ハンセン病回復者が将来的に自立した社会生活を営むことができるようになること、また一般社会の子供と共に学ぶことで、回復者子女自身が抱く被差別意識や自己否定感の解消と、一般社会からの偏見・差別の撤廃を目指す。

達成度 ハンセン病回復者子女は、学校に通っていても貧困や差別などを理由に退学するケースが散見される中、支援対象の 94 名の生徒は、ひとりも落第することなく、学校に通うことができた。生徒からの手紙には、ハンセン病コミュニティで育った環境から教育をあきらめていたが、このプロジェクトにより、寄宿舎に住むことができ学校に行くことができ嬉しいという声が多く届いている。

真剣に授業を受ける子供たち



SHAKEBAH MYNDON



My home is Shalakhga Mandolli. My father name is Sh.Makomali and my mother is Somenali. I am the native of Hishindaya (Leprosy colony) village.

My Grand Mother is a poor affected person. I have two sisters studied privately in my native village. Due to poverty my parents were unable to meet the expenditure of my school fee, cost of books and maintenance. As a result I left my education on my studies. I was even afraid of going school in Chikankhase. My parents wanted to discontinue my studies. At that time my parents knew about GRETNALTES and contacted us in the school.

Now I am studying in Class 10. While I was studying I was always sick. But after joining the high school at GRETNALTES our character is influenced by the kind treatment and because having well protection under the management - Providing Education, Books, Food, Hostel facility etc. are totally free. Now I am very happy in every subject and class I get 100 marks. Mathematics is my favourite subject. I want to become a business man.

SHAKI MASTANI



My Home is Daki Mastani. My Father name is S.K.Akhanabadi and my mother is Babajan. I am the native of Khatmanau, Khatu, Duggabadi (MS), Gurur (DI).

My Grand father is Leprosy affected person. We are two girls from the same one. I studied privately in my native village. Due to poverty my parents were unable to meet the expenditure of my school fee, cost of books and maintenance. As a result I lost my interest on my studies. I was even afraid of going school in Chikankhase. My parents wanted to discontinue my studies. At that time my parents knew about GRETNALTES and joined me in the school.

Now I am studying in Class 10. While I was studying I was always sick. But after joining the high school at GRETNALTES our character is influenced by the kind treatment and because having well protection under the management. Providing Education, books, food, Hostel facility etc. are totally free. Now I am very happy in every subject and class I get 100 marks. Social is my favourite subject. I want to become an Agriculture research person.

生徒からの手紙紹介

シャイク・マスタニ (8年生)

グントゥール地区カンタラジュコンドル村出身、2人姉妹の長女、祖父がハンセン病回復者です。村の学校に通っていた頃は、貧困から両親は学費や教科書代等を支払えなくなり、勉強への興味が失せ、学校に行くことも怖くなりました。そんな時にハンセン病回復者子女支援を行っている GRETNALTES が運営する学校について知り入学しました。この学校に入ってから、勉強への退屈さを感じなくなりました。教科書、食事、寄宿費はすべて無料で親切なスタッフのおかげで安心して過ごすことができ、とても幸せです。クラスでは上位成績を修めています。得意科目は社会で、将来は農業研究者になりたいです。

ジー・ウシャ (7年生)

アンベドカールコロニーで父、母、祖父母と暮らしていました。父はアイスクリームを街で売って、家族全員を養っています。収入が十分ではないので、いい学校に行くことをあきらめていましたが、GRETNALTES に入学できて無料で勉強することができます。得意科目は英語です。将来は弁護士になりたいです。

シャイク・ミノディン (9年生)

プランブダヤコロニー出身です。家が貧しいため教科書を買ってもらえず、勉強に興味を持てませんでした。両親も私を退学させようとしていました。GRETNALTES では、授業費や寮費がすべて無料で、楽しく勉強できます。すべての教科で私はトップの成績です。特に数学が得意で、将来はビジネスマンになりたいと思って勉強をしています。

チャリティオークション他口

2-1 支援概要

チャリティオークション他口は、ボートレーサーの方々からご提供いただいたグッズをオークションにかけた収益金（下記、チャリティオークション）とレース優勝賞金からのご寄付やその他ご寄付（下記、オークション以外）から成り立っています。オークション他口では、各国のハンセン病回復者やその家族の生活環境改善や経済自立支援、ハンセン病対策や災害支援など様々なプロジェクトを行っています。

2-2 収入状況（2020年3月末現在）

年度	チャリティオークション他口		
	チャリティオークション	〈オークション以外〉 冠レース・選手会扱・篤志家	合計
2001	¥4,208,626		¥4,208,626
2002	¥8,515,071	¥31,000	¥8,546,071
2003	¥5,061,644	¥4,455,250	¥9,516,894
2004	¥2,610,740	¥3,084,000	¥5,694,740
2005	¥4,227,306	¥1,658,495	¥5,885,801
2006	¥3,367,947	¥3,957,578	¥7,325,525
2007	¥3,232,227	¥4,554,838	¥7,787,065
2008	¥3,208,877	¥4,254,410	¥7,463,287
2009	¥1,781,454	¥2,459,735	¥4,241,189
2010	¥3,109,270	¥2,643,816	¥5,753,086
2011	¥2,212,188	¥666,646	¥2,878,834
2012	¥2,340,193	¥21,163,956	¥23,504,149
2013	¥2,172,490	¥392,458	¥2,564,948
2014	¥2,351,211	¥177,242	¥2,528,453
2015	¥2,526,979	¥1,972,600	¥4,499,579
2016	¥2,293,860	¥1,845,763	¥4,109,623
2017	¥3,216,410	¥1,601,000	¥4,817,410
2018	¥3,741,709	¥1,522,000	¥5,263,709
2019	¥3,645,546	¥1,612,000	¥5,257,546
総計	¥64,093,748	¥57,752,787	¥121,846,535

2-3 予算と支出状況 (2020年3月末現在)

承認委員会 (開催年)	活動実施 年度	ご寄付額	承認額 (予算)	支出額	支出 予定額	残額	繰り越し	繰り越し後 残高累計
第1期 (2002)	2002-2003		¥10,000,000	¥10,000,000	-	¥0	-	¥0
第2期 (2004)	2004-2010		¥16,000,000	¥14,688,352	-	¥1,311,648	-	¥1,311,648
第3期 (2006)	2006-2010		¥10,000,000	¥8,829,808	-	¥1,170,192	-	¥2,481,840
第4期 (2008)	2008-2013		¥16,000,000	¥14,288,688	-	¥1,711,312	¥2,000,000	¥2,193,152
第5期 (2010)	2010-2013		¥14,000,000	¥12,436,871	-	¥1,563,129	¥2,000,000	¥1,756,281
第6期 (2012)	2013-2015		¥30,000,000	¥27,002,616	-	¥2,997,384	¥4,500,000	¥253,665
第7期 (2014)	2015-2016		¥8,500,000	¥7,431,194	-	¥1,068,806	¥715,041	¥607,430
第8期 (2016)	2017		¥9,000,000	¥8,740,896		¥259,104	¥866,534	¥0
2017年 10月	2018		¥5,261,638	¥4,757,320	-	¥504,018	¥504,018	¥0
2019年 2月	2019		¥5,494,368	¥1,940,087	-	¥3,553,981	¥3,553,981	¥0
-	2020		¥8,656,307					
合計		¥121,846,535	-	¥110,115,832			-	-

※2020年度活動予算組み入れ寄附金は、2018年10月1日～2019年9月30日入金分

2-4 2019 年度活動詳細

支援総額 ￥1,940,087

2019 年度は、チャリティオークション他口から、インドとインドネシアのハンセン病コロニーにてワークキャンプによる生活環境改善、偏見・差別の解消や尊厳回復のためのハンセン病の正しい知識の普及・啓発活動を支援しました。

2-4-1 インド

インド西ベンガル州のハンセン病コロニーに住む人々の尊厳回復と経済的自立プロジェクト	
支援総額 ￥1,598,600	
支援概要	<p>目的：コロニー住人の被差別意識の解消と尊厳回復、自立支援ならびに日本とインドの若い世代のハンセン病に対する偏見・差別の解消、ワークキャンプでのボランティアを通じた社会貢献や共同生活を通じたチームビルディングによる参加者自身の成長促進</p> <p>支援先団体：特定非営利活動法人わびねす</p> <p>活動概要：インド西ベンガル州 2 地域のハンセン病コロニーでのワークキャンプによるインフラ整備、偏見・差別の解消、尊厳回復を目的とする普及・啓発活動</p>
目標と実施内容	<p>目標：コロニーのインフラ整備により生活環境を改善し、住人が安心、安全に暮らし尊厳ある生活を取り戻すことを目指す</p> <p>実施内容：</p> <p>1. マニプールコロニーワークキャンプ 期間：2019 年 8 月 24 日～9 月 4 日 内容：日本人学生 7 名が参加。老朽化によるひび割れが進んでいる独居老人保護施設女性棟（25 人居住）及び男性棟（25 人居住）のひび割れを全て埋めた。また雨漏り被害の激しい独居老人保護施設のキッチン修繕を実施、トタン屋根の張替えとひび割れが進み崩れかけていた壁面を補修した。</p> <p>2. チャクドラコロニーワークキャンプ 期間：2019 年 8 月 21 日～8 月 30 日 内容：日本人学生 8 名が参加し、家屋 11 件の床修繕と、1 軒の新築工事实施。天井からの雨漏りや床からの浸水により凸凹があり、躓き怪我の原因となっていた箇所を修繕した。また、倒壊の恐れがあった家屋一件を新築し、安全で快適な住居環境を提供した。ワークキャンプの合間には、コロニーの子供が通う学校への訪問調査や児童労働調査、絵本の作製や読み聞かせ、近隣住民を招いての普及・啓発パーティを実施した。</p> <p>※当初ビシュナプールコロニーでの活動も予定していたが、結核流行のため 2019 年度の活動は中止とし、次年度以降の実施を検討している。</p> <p>※インド各地でイスラム教徒に対する差別を訴えるデモが頻発したことを受け、ワークキャンプ参加者の安全を考慮し 2020 年 2 月・3 月に予定していたワークキャンプを中止し、同年 8 月・9 月に実施することとした。これにより事業終了を 2020 年 3 月 31 日から 2020 年 10 月 31 日までに延長することとした。</p>
達成度	<p>屋根や壁、床の修繕を行ったことで雨漏りや倒壊の恐れがなくなり、村人は安心して生活ができるようになった。生活環境が改善したことで、村人自身の自らの生活に対する劣等感や自己烙印の気持ちが解消され、尊厳回復へとつながっていくことが期待される。また、継続的に近隣住民に対してのハンセン病の正しい知識の普及・啓発活動を行う事により、ハンセン病コミュニティへの偏見・差別の解消を推進することができた。</p>

マニプルコロニー活動写真

独居老人保護施設、室内の壁にはひび割れが多く雨漏りの跡も見られます

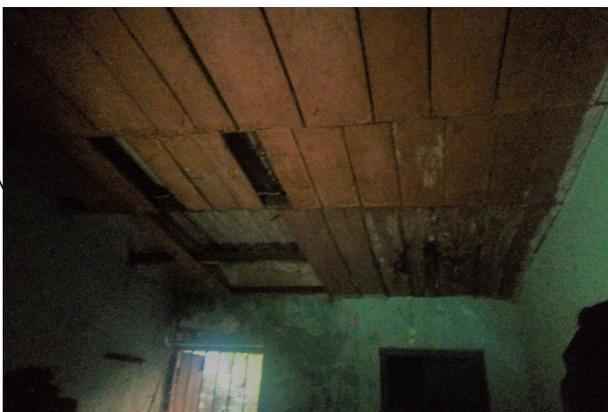


壁面、天井をセメントで補修し雨漏り被害を防ぎます



キッチン修繕箇所、板が剥がれ落ちている屋根がトタン屋根へと張り替えられました

修繕前



修繕後



チャクドラコロニー活動写真

村人に習いながらセメントづくりに励む様子



床修繕の様子、レンガを綺麗に並べ砂とセメントで埋め、最後にセメントで均して完成



家の新築の様子



倒壊の恐れのない安心して暮らせる家が完成



絵本作製と読み聞かせ風景



ベンガル語の発音は村人から習得



2-4-2 インドネシア

インドネシア3地域におけるワークキャンプ及び写真展示会の実施	
支援額 ¥341,487	
支援概要	<p>目的：ハンセン病回復者の自己烙印の解消と尊厳の回復</p> <p>支援先団体：SATU JALAN BERSAMA</p> <p>活動概要：東ジャワ州、中部ジャワ州の2か所のハンセン病コロニーでのワークキャンプ（インフラ整備による生活環境の改善）、東ジャワ州コロニーでの啓発活動、および大学での写真展開催</p>
目標と実施内容	<p>目標：インフラ整備により生活環境改善を行い、回復者が安心した暮らしを手に入れる。また普及・啓発活動を行い、地域住民が正しいハンセン病の知識を獲得することで、将来的な差別の解消を目指す。</p> <p>実施内容：</p> <p>1. 東ジャワ州ナンガット村（インフラ整備） 期間：2019年8月9日～8月23日 内容：コロニー内の道路舗装、石畳敷きと堤防補修 日本人、インドネシア人の学生ボランティア26名が参加。足場が悪く怪我につながっていた道路と浸水被害防止のため堤防補修を11日間で完成させた。その間には回復者の自宅やリハビリ施設を訪問し交流を図り、住人との信頼関係構築に努めた。</p> <p>2. 中部ジャワ州ドノロジョ村（インフラ整備） 期間：2019年8月9日～8月23日 内容：堤防と排水溝補修・増設 日本人とインドネシア人の学生ボランティア22名が参加。排水の状況が悪く、大雨時には汚染水が押し寄せる問題があった堤防と排水溝を補修した。</p> <p>3. 東ジャワ州スンプルグラガ村（啓発活動） この村は、過去にインドネシア最大級のハンセン病専門病院があったことから、出身地というだけでハンセン病回復者やその家族だとわかり、周囲からの偏見・差別が強い傾向にあった。そのため今年度は村や村周辺での啓発活動を重点的に実施した。</p> <p>①近隣高校での啓発 期間：2019年8月14日 内容：村から程近いゴンダン高校で2時間のハンセン病に関する講義を実施。高校3年生196名が参加し、ハンセン病に関する質問票を通し正しい知識を学び、また授業を受けた高校生が実際にコロニーを訪れ、住民との交流を通しハンセン病への理解を深めることができた。訪問の様子は地元紙でも取り上げられた。</p> <p>②コロニーに住む子供への啓発 期間：2019年8月15日 内容：コロニー内30名の子供に対して、絵本を使用しハンセン病の正しい知識を届けた。村内の子供達への啓発活動は初めての試みで、多くの子供達は家族がハンセン病であることは知っていても、ハンセン病について正しく理解していない様子であった。</p> <p>③コロニー近隣のハンセン病回復者への聞き取り活動 期間：2019年8月16日 内容：17名のインドネシア人学生が、コロニーではなく近隣の一般地域で生活する5軒の回復者宅訪問を実施した。一般地域ではコロニー以上に過酷な偏見・差別に晒され、社会から孤立し、厳しい生活状況であることがわかった。</p>

	<p>4. 写真展 場所/期間：マラン大学 11月20日～11月21日、スラバヤ大学 11月26日～11月27日、 インドネシア大学 11月27日～11月28日 内容：各大学でハンセン病の基本情報の提供や JALAN の活動紹介を含む写真展を開催し、 正しい知識の普及・啓発が行われた。また、3つの大学で200人以上の来場者があり、 それぞれにハンセン病に関するアンケート用紙を配布し、160人以上から回答を得ることが 出来た。その結果、約半数は正しい知識を持っている事がわかった。</p>
<p>達成度</p>	<p>インフラ整備により悪路での転倒や怪我の恐れが無くなり、コロニーに住む人々の安全を 確保できるようになった。また、生活環境が改善されたことで、住民自身の劣等感が緩和 され自己烙印の解消につながり、彼らの自尊心回復も期待される。更には、ワークキャン プ参加者、地域住民、若い世代に対しハンセン病の現状、正しい理解の促進と知識の普 及・啓発活動を行ったことより、コロニーに住む人々への偏見・差別の解消へとつながった。</p>

ナンガット村活動写真

綺麗に補修された石畳と道の途中に設置された石碑、補修に携わった人々の名前が刻まれています



田植えの手伝いも

村人たちとの一枚



ドノロジョ村活動写真

村人とボランティアによる排水溝補修作業の様子と完成後

活動前の側溝



村人と一緒に作りに作業します



立派な側溝が完成し、洪水被害も心配もなくなりました。



スンブルグラガ村活動写真

村の子供たちへの啓発活動の様子



集会所のカーペット清掃の様子



近隣高校での講義の様子、ハンセン病の講演に熱心に耳を傾ける高校生たち



JALAN メンバーとボランティア学生、
大学で行った写真展での一枚。ハン
セン病コミュニティへの差別ストッ
プを訴えました。

ニューズウィーク日本版でも活動が
取り上げられました。

<https://www.newsweekjapan.jp/stories/world/2019/12/3-156.php>